

PDA神奈川県高等学校即興型英語ディベート交流大会 2022

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

開催日時：2022年11月5日（土）11:30-16:30

会場：神奈川県横浜平沼高等学校

参加校：18校（横浜平沼、横浜国際、横浜翠嵐、横浜緑ヶ丘、光陵、大和、川和、柏陽、多摩、
横須賀、鎌倉、湘南、小田原、茅ヶ崎北陵、相模原、厚木、希望ヶ丘、平塚江南）

参加者：生徒105名、教員54名

スタッフ：PDAスタッフ、東京大学

主催：神奈川県教育委員会、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

主管：学力向上進学重点校エントリー校連絡協議会 グローバル教育研究ワーキンググループ
4技能指導法研究グループ



開会式では、学力向上進学重点校・グローバル教育ワーキンググループ代表・柏陽高等学校長・井坂先生より、「お互いのことをよく知り、交流を深めてください。」と英語でご挨拶いただきました。次に、高校教育企画室国際・情報教育グループの田中主任主事兼指導担当主事より、「これは個人の大会ではなく、チームの大会です。ぜひお互い助け合いながら頑張ってください。」と英語でご挨拶いただきました。そして、一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA) 代表理事中川智皓より、「緊張している人もいるかもしれませんが、心を落ち着かせて論理的に話すというのはこれから先世界で活躍するのに必要な力になります。頑張ってください。」とエールが贈られました。

その後、PDA スタッフより、参加校紹介やルールの確認、POI の練習が行われました。



井坂秀一校長によるご挨拶



教育委員会 田中先生よりご挨拶



PDA 代表理事 中川智皓より挨拶



POI (Point of Information) の練習

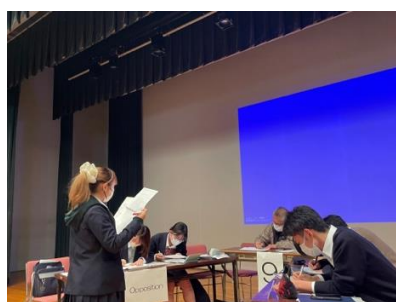
第1ラウンドのお題は「*Students should be allowed to work on different materials during class.* (生徒は、授業中に別の作業(内職)することを許されるべきだ。)」でした。肯定側は、生徒によって学びの進捗はそれぞれであるため、効率よく学習するために内職は許されるべきだと主張し、否定側は、先生は授業中に重要なことを説明するため、それを聞き逃さないためにも内職をすべきではないと主張しました。ディベートを終えとお互いの健闘をたたえ、エアー握手を交わしたのち、ディベートでもっと言いたかったこととは何か、英語の勉強は普段どうしているのか、海外に行ったことがあるかなどについて話し交流を深めました。



ディベートの様子・堂々とスピーチしています



ディベートの様子・具体例をあげ説得的なスピーチを披露



スピーチの様子



エアー握手を交わします



ディベート後の交流



各テーブル、教員がジャッジとして勝敗の説明を行っています

続く第2ラウンドのお題は、「*Government should restrict the time spent on online games.* (国は、(PC およびスマホの)オンラインゲームの利用時間を規制すべきである。)」でした。肯定側はオンラインゲームには中毒性があり、やりすぎると学力の低下や視力の低下につながることを主張し、否定側は代替案として親の存在をあげつつ、オンラインゲームを通して創造性やコミュニケーション力が身に付く側面があることについて説明しました。POI を通した質疑応答も活発に行われ、「オンラインゲームをやめたとしても、YouTube を見たり、Instagram を見たりして学力の低下や視力の低下はいずれにしても起こるのではないか」など鋭い質疑も行われました。ディベート後は各校の教員がジャッジとして勝敗の説明や個人コメントを行いました。



ディベートの様子・POI を通して質疑応答をしています



アイコンタクトをしながらスピーチ



論理的な説明を披露

エアー握手



エアー握手

ジャッジによるフィードバック

休憩を挟むと、第3ラウンドの開始です。お題は、「*We should make it mandatory for elderly citizens to return their driver's license.* (高齢者に運転免許証の返納を義務化すべきである。)」でした。肯定側は高齢者による事故のリスクや、代替案として公共交通機関の充実をあげ、否定側は義務化では免許返納を強く推奨することでも十分、年齢で線を引くのではなく、能力チェックなどで線を引くべきといったことについて説明しました。この第3ラウンドはサイレントラウンド（ジャッジが結果を生徒に伝えない）のため、生徒はドキドキした状態でディベートを終えました。



ジェスチャーを交えてスピーチしています



相手のスピーチにも臨機応変に対応



チームワークも発揮しスピーチしています



聴衆にうったえかける情熱的なスピーチ

そしてジャッジが高く評価した生徒6名によるエキシビションディベートが始まりました。論題は「*Grade-skipping should be introduced in compulsory education.* (義務教育での飛び級を導入すべきである。)」でした。会場で友人や他校の生徒、教員が観戦している中、聴衆を見渡しながら堂々とスピーチを行いました。観戦した生徒と教員による挙手投票では肯定、否定ともに同じくらい手が上がり、接戦となりました。代表でジャッジを行った6人のPDA認定教育ジャッジの教員による挙手投票で肯定側の勝ちとなりました。



代表教員による進行



堂々とスピーチ



ディベート後のエアークラップ



PDA 認定教育ジャッジによるジャッジ

閉会式では、エキシビションディベーター賞、チーム賞、個人賞の表彰を行い、各高校の校長先生より賞状を授与していただきました。最後に、学力向上進学重点校エントリー校・グローバル教育ワーキンググループ代表・横浜平沼高等学校長・小島先生よりご挨拶いただきました。会場校である横浜平沼高校の小島横須賀高等学校の海浦校長先生よりご講評をいただき、令和4年度のPDA神奈川県高等学校即興型英語ディベート交流大会は幕を閉じました。



表彰式



小島校長によるご講評

【表彰】

〈エキシビションディベータ賞〉

・ PM	相模原高校	_____さん
・ LO	柏陽高校	_____さん
・ MG	横浜国際高校	_____さん
・ MO	湘南高校	_____さん
・ LOR	鎌倉高校	_____さん
・ PMR	厚木高校	_____さん



エキシビションディベータ賞

〈チーム賞〉

- 1 位 横浜国際高校
- 2 位 湘南高校
- 3 位 横須賀高校
- 4 位 多摩高校
- 5 位 厚木高校



1 位 横浜国際高校



2 位 湘南高校



3 位 横須賀高校



4 位 多摩高校



5 位 厚木高校

〈ベストディベーター賞〉

- ・ _____さん (鎌倉)
- ・ _____さん (平塚江南)
- ・ _____さん (湘南)
- ・ _____さん (厚木)
- ・ _____さん (光陵)
- ・ _____さん (横浜国際)



ベストディベーター賞

〈POI 賞〉

- ・ _____さん (多摩)
- ・ _____さん (相模原)
- ・ _____さん (横浜翠嵐)
- ・ _____さん (横須賀)



ベスト POI 賞

参加者の声（アンケートより抜粋）

（生徒の声）

- ・英語にもっと興味が沸いた、もっと英語話したくなった。（鎌倉）
- ・色んな学校の人の実力を間近で見れたので楽しかったです。（鎌倉）
- ・学校の授業や練習だけでは学べない、ディベートの技術を学べて、これからもっとディベートをやりたいと思った。ハイレベルな戦いでたくさんのことが吸収でき、これからの授業・練習等で使えることを学べたいい経験でした。（大和）
- ・初めは緊張で参加することすら嫌だったが、実際に会場でディベートして緊張がほぐれ討論することの楽しさを感じた。（大和）
- ・他の高校の人とディベートができて、いい機会になった。もっと自分の能力を高めたい。（大和）
- ・初めてのディベートでとても緊張した。POI を1回で3回もされてすごく怖かったけど、しっかり焦らず返せたので満足出来た。学校だけでは経験できないとてもいい経験になった。（大和）
- ・発音や論点、視点も自分が出来ないことをスラスラとできる人がたくさんいてすごいと思った。そのような人たちを見れたので、これからの自分のディベートに活かしていきたいなと思えた。（大和）
- ・自分よりずっと話すのが上手い人と交流できて楽しかった。（川和）
- ・色々な学校との交流を通して新しい発見を沢山できた。（川和）
- ・いつもではない淡々と議論が進んでいくのが本当に新鮮だったし、処理する情報量がいつもより多くてビックリしました(笑)。1回も沈黙がなく、スラスラと英語が出てくる人がいて、今は実力不足の私ですがいつかはこうなれるように努力していきたいなと思いましたし憧れが出来ました。このような大会に参加させてもらって本当に光栄に思いました。本当にありがとうございました！（川和）
- ・レベルの高い人が多く、正直戸惑うことが多かったのですが、感銘を受けました。また同じ高校の仲間からも改めて刺激をもらい、交流できたことに感謝しています。（川和）
- ・自分よりもレベルの高い人とのコミュニケーションで、話し方や考え方がとても参考になったからです。沢山のひとと話が出来てとても勉強になったし楽しかったです。練習試合も対面でやりたいです。（川和）
- ・対面でディベートするのが初めてでとても緊張しました。ですが、色々な人との関わりを通じて、知れたことも多かったので、良かったです。楽しかったです!!（湘南）
- ・本日はありがとうございました。対面で試合をできたことはとてもいい経験になりました。他校のスピーチを聴いてどのような構成だと聞きやすいかを学び、フィードバックでは的確に足りたところを指摘してくださったため、次のディベートに活かしていきたいと強く感じました。（湘南）
- ・とても楽しかった！（横須賀）
- ・あっという間でした、楽しかったです！（横須賀）
- ・ジャッジの間に対戦校の方とお話が出来て楽しかったです。オンラインより良かったと思います。（横須賀）
- ・会場の雰囲気が良く、モチベーションを上げることができた。（横須賀）
- ・学びがたくさんあり、来てよかったなと思いました！（希望ヶ丘）
- ・初めてのオフラインでとても緊張しました。各学校の独特の雰囲気を感じ、とてもよいディベート

大会に参加できたと思います。(希望ヶ丘)

- ・色んな高校の人とディベートやプライベートの話ができてとてもいい刺激になりました。(希望ヶ丘)
- ・聞き取る難しさに気づいたり、相手のいいところを見つけられたり等、たくさん学ぶことができました。今回の経験を活かして再挑戦したいと思いました。(希望ヶ丘)
- ・凄く楽しかったです。刺激が多く、もっと英語で自分の考えを話せるようになりたいと感じた。(光陵)
- ・ディベートを通じて、自分の意見を整理し、相手に伝えることの難しさと楽しさを知ることができました。(光陵)
- ・エキシビションでは、英語を話すという本質を見ることができた。(茅ヶ崎北陵)
- ・コロナの中実際に会場に行って相手とリアルに交流できて凄く楽しかったです。(茅ヶ崎北陵)
- ・対面でのディベートは初めてだったので、とても緊張しました。(茅ヶ崎北陵)
- ・仲間との協力や自分の言いたいことを英語で伝えられた時は嬉しかった。(小田原)
- ・生産的な討論ができ、同じ年ですごい人が沢山いたので良い経験になった。(小田原)
- ・初めてで難しかったです、他校の人達がとても上手にディベートしていてびっくりしたと同時に自分ももっと頑張ろうという意思が出てきました。もっと頑張って英語ペラペラになれるように頑張りたいです。(小田原)
- ・難しかったし大変なこともあったけれど、初めての経験だったのでとてもワクワクしながら準備をしたり、ディベートを通して他の学校との交流ができたりしたのが楽しかったです。緊張して思うように話せなかったし、他の高校のエキシビションを見て、自分の英語のスキルをもっと磨きたいと思いました。英語で自分の意見や思いを具体的に伝えるのは難しいけど、やっぱり英語が好きだになって思えました！(小田原)
- ・ Thank you for making such a honor chance! It's a great time for me to talk many interesting topic! I want to do it more☺️ (小田原)
- ・ 同世代の英語力が高く、自分も頑張らなければと思いました。すごかったー!!!!☹️ (横浜緑ヶ丘)
- ・ 自分の意見も言えたり、去年出たときよりもたくさん話せて達成感がすごいです！生徒エキシビションを聞いてて、すごすぎて感動しました。🌟 (横浜緑ヶ丘)
- ・ たくさんアドバイスをいただけてとても参考になりました。(厚木)
- ・ とても緊張して、良い刺激になった。(厚木)
- ・ 普段の練習とは違う人たちとディベートができて、普段とは違う切り口で話すことができて勉強になりました。他の高校の方の言葉回しなども積極的に真似していきたいと思いました。(厚木)
- ・ 今までオンラインでのディベートしかやった事がなかったので、対面は初めての試みで面白かった。とても緊張したが、実際に話してみると楽しかった。(平塚江南)
- ・ 他校の生徒さんの論理の立て方や、英語のスピーキングのスキルを実際にこの目で耳で感じる事ができたのが楽しかった。今までにないくらい緊張感のある現場でとても刺激になりました。ぜひ来年も出たいです。(平塚江南)
- ・ 自分の力不足で反論できなかったり意見をうまく言えないことが多かったのですが、その後の交流が楽しかったです。(平塚江南)
- ・ 昨年の自分と比べて向上が見られた。(横浜平沼)
- ・ ぜひ来年も参加したい。(横浜平沼)

- ・たくさんの方とディベートをすることができて、今回の反省点を次回に活かしたいです。（横浜国際）
- ・どの学校もとてもレベルが高くて、聞いているだけのラウンドも勉強になりました。今日の反省や他のチームから学んだことを授業でも活かしていきたいです。（横浜国際）
- ・自分の意見をわかりやすく伝えるように論理的に組み立てて述べるのが楽しかった。（横浜翠嵐）
- ・刺激的な意見をたくさん聞けたから。自分だったら思いつかない反論や言い回しをしている人を見て、自分も日常から変えて行かねばと思った。（横浜翠嵐）
- ・相手の意見を聞いて、モーションに対しての新しい視点を得ることができた。（多摩）
- ・この人話すの上手だな、構成が綺麗だな、この人のスピーチ好きだなと思えることが多くとても楽しかったです。学校内で対戦していると限界がありますが広く交流でき、自分の視野も、ディベートをやるにおいても大きく広がったように感じます。（多摩）
- ・いつも練習するメンバー以外とディベートができたのは、自分の力を知れてとても良い機会だったと思うし、この緊張感でディベートできたのは自信になったから良かった。（多摩）
- ・はじめての対面式の試合で相手から内容だけでなくタイムマネジメント、ボディランゲージ等の事がとても参考になり、本当に参加出来て良かったです！ありがとうございました！！（多摩）
- ・リモートだとジャッジの採点中に気まづくなることが多いのですが、今回の試合はリアルだから楽しく話すことが出来、時間な足りないくらいだった。（相模原）
- ・今までにかけてきた時間とチームワークを信じてラウンドに臨みました。結果は自分の目指していたものではありませんでしたが、自分の出せる力を予想以上に発揮できて良かったです。同時に学べたことがたくさんありました。本日はこのような機会をご提供くださりありがとうございました。（相模原）
- ・新たな発見がありました、ありがとうございました。（柏陽）
- ・大会を通してずっと楽しく英語に触れることができました！（柏陽）

（教員の声）

- ・ディベートはオンラインとも相性がいいタスクなのでこれまでコロナ禍でも大会を開いていただけていたことに本当に感謝しています。でも一方で生徒の交流を見ていると、やはり対面がいいなと思いました。
- ・生徒が有意義に感じてくれていることを感じてとても嬉しかったです。対面で開催していただきありがとうございました！！
- ・現役高校生でこんなにも深いディベートができるのかと感動したとともに、ジャッジの仕方についても勉強ができてとても良かったです。
- ・生徒たちが生き生きと楽しく頑張っている姿が良かったです。
- ・生徒の生き生きとした姿が見られました。ジャッジもよい経験となりました。
- ・生徒が短い時間でも協力し合って、どんどん上手になる様子が見えました。言葉は使うことが大切と再確認しました。
- ・生徒同士のコミュニケーションやドキドキ感を見て、対面開催の良さを感じました。短い時間の中で生徒が大きく成長したと思います。ディベートの楽しさを、学校での練習よりも感じたようです。このような場を設けて頂き、ありがとうございました。
- ・最初、対面と聞いた時は驚きましたが、結果として、オンラインよりいいな～と思いました。Live感があったので。